

ふうすいがい 風水害

あめ ふ かた つよ 雨の降り方と強さ

平成27年9月関東・東北豪雨や令和元年東日本台風では、関東甲信地方や東北地方を中心に、次々と発生した積乱雲が、線状となって、長時間にわたり大雨を降らせました。このような雨の降り方は「線状降水帯」と呼ばれ、集中豪雨をもたらします。気象情報などを確認し、災害時に備えて早めの準備をしましょう。また、河川やがけなど災害の危険性のある場所には近づかないようにしましょう。

1時間の雨量

10～20mm



「やや強い雨」

雨の音で話し声が聞き取れない。

ザーザーと降る

20～30mm



「強い雨」

車の運転中、ワイパーを早くしても見づらい。

どしゃ降り

30～50mm



「激しい雨」

傘をさしても濡れ、道路が川のようになる。

バケツをひっくり返したように降る

50～80mm



「非常に激しい雨」

あたりが水しぶきで白くなる。傘は全く役に立たなくなる。

滝のようにゴーゴーと降り続く

80mm～



「猛烈な雨」

車の運転は危険。

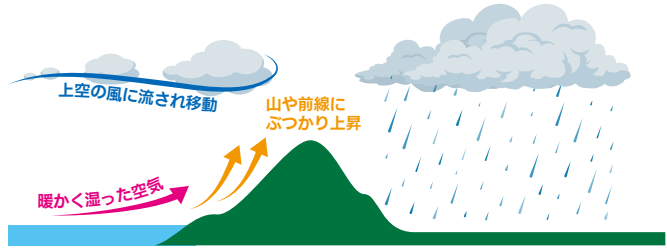
息苦しくなるような圧迫感や恐怖を感じる

せんじょうこうすいたい 線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし、同じ場所を通過または停滞することでできる線状に伸びる強い降水帯のことです。これにより数多くの甚大な被害が生じています。

きろくてきたんじかんおおあめ 記録的短時間大雨とは

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測（地上の雨量計による観測）したり、解析（気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析、解析雨量）したときに発表されます。



たいふう 台風

日本には毎年多数の台風が接近、上陸し、大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際には、気象情報に十分注意し、不要不急の外出は控えましょう。

台風の大きさと強さの目安

| | | | | | |
|-----|--------------|--------------------|-----|-------------|--------------------|
| 大きさ | 大型 (大きい) | 半径 500 km～800 km未満 | 強さ | 強い | 風速 33m/秒以上～44m/秒未満 |
| | 超大型 (非常に大きい) | 半径 800 km以上 | | 非常に強い | 風速 44m/秒以上～54m/秒未満 |
| | | | 猛烈な | 風速 54m/秒以上～ | |

風の強さと吹き方 (平均風速:m/秒)

| | | | |
|-----------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 風速 10m 以上～15m 未満 | 風速 15m 以上～20m 未満 | 風速 20m 以上～30m 未満 | 風速 30m 以上 |
| 「やや強い風」 | 「強い風」 | 「非常に強い風」 | 「猛烈な風」 |
| 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。 | 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業は極めて危険。 | 何かに捕まっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 | 屋外での行動はきわめて危険。多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック塀で倒壊するものがある。 |

